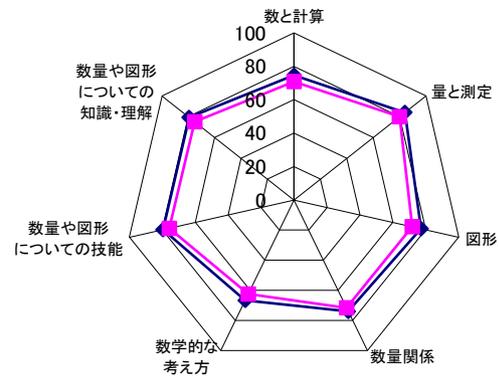


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	74.7	70.8	65.9
	量と測定	84.0	79.9	77.0
	図形	77.1	71.8	74.6
	数量関係	74.0	71.7	73.4
観点別	数学的な考え方	66.6	62.5	59.4
	数量や図形に関する技能	79.6	75.8	73.3
	数量や図形に関する知識・理解	79.4	75.1	76.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



● 本校 ● 市

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○校内正答率は74.7%で、市の正答率を3.9ポイント上回った。</p> <p>○特に、分数のかけ算・わり算の問題では校内正答率が9割を超えた。</p> <p>●小数の計算・整数のなかま分けでは、回答が条件と矛盾することを説明する問題の校内正答率は50.0%で、市の正答率より4.3ポイント下回った。</p>	<p>問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線、線分図やテープ図などで表すことができるように指導していく。また、問題を解く機会を意図的に設定し、数量の関係について自分の言葉で記述し、説明する活動を多く取り入れ、着実な定着を図っていく。</p>
量と測定	<p>○校内正答率は84.0%で、市の正答率を4.1ポイント上回った。</p> <p>○円と正方形を組み合わせた図形の面積を求める式から、図を選択する問題の校内正答率は82.5%で、市の正答率より9.8%ポイント上回った。</p>	<p>各問題に対し、直線図や式、言葉で表し、自分の言葉で友達に説明するなどの数学的活動を積極的に取り入れる。また、既習内容を繰り返し復習することで、基礎基本の確実な定着を図る。</p>
図形	<p>○校内正答率は77.1%で、市の正答率を5.3ポイント上回った。</p> <p>●線対称な図形で、対象の軸が4本のあるものを選択する問題の校内正答率は48.8%で、市の正答率を3.2ポイント下回った。</p>	<p>図形の学習においては、図形の感覚を豊かにし、図形の性質を実感的に理解できるようにすることが大切である。単なる知識としてだけでなく、作図などの数学的活動を通して、図形の性質を実感できるようにしていく。</p>
数量関係	<p>○校内正答率は74.0%で、市の正答率を2.3ポイント上回った。</p> <p>●どの資料から問題場面を読み取ったか選択する問題の校内正答率は81.3%であり、市の正答率を0.6ポイント下回った。</p>	<p>グラフを読み取り、問題場面と関連付けられるように、問題解決の方法を自分の言葉や式で説明する活動を意図的に取り入れ、指導していく。</p>